

1. 広島と長崎

・原子爆弾が広島と長崎におちた日に毎年必ずテレビで生放送で式典をやっているのは、
 してましたのけれど、見たことは12回しかみたことがないです。しかし、祖母は毎年見てます。
 やはり戦争中を生きた人だからなのかなと思いました。
 私も中学校の修学旅行で広島へ行った事がある。事前学習として、
 核兵器について深く学んだ。原爆ドームや資料館を見て、核兵器の
 恐ろしさを知った。原爆を落とされた国は日本だけ。核兵器の恐ろしさを
 一番よく知っている日本が、もっと核廃止を主張しても良いと思う。
 中学生の頃、広島と京都へ行きまして、実際の原子爆弾の大きさをみて、
 その大きさを想像したのですが、その大きさを広範囲の被害をもたらす事にとても驚いた事
 覚えてます。DVDを見て、科学者に期待はできないと言ってました。それは何と大きな力を
 科学者や研究者は持っているのだと思えます。
 広島を言われた瞬間、原爆ドームを見て、涙が頬を伝って、涙が頬を伝って、涙が頬を伝って、
 の木葉をみて、なんで核がとどろいたのだろかと感じたのを覚えています。
 私は、広島長崎の原爆が核下ゆたゆたを覚えていませんでした。
 小学生の頃に習ったけど、それはテストに出る中々という義務感で
 覚えていたと思います。私たちは日本人であつて、決して風化させては
 いけない。後世に後継者がいなくなるとはならないものだと感じます。
 広島長崎で起きた日付を私は覚えていなかった。たの
 こ木からは忘れずに覚えておこうと思いました。

私の親(皆さんの祖父母)の世
 代の人生は戦争体験抜きに語れ
 ません。
 おそらく、御祖母様は、自分が毎年見る姿を、孫の世代の皆
 さんにも見せておきたい、そういう思いもあると思います。
 日本は核兵器廃絶の先頭に立つ
 べきです。しかし、残念ながら
 このザマです。それを正すため
 には、まず、私たちみんなが、
 広島長崎から学ぶことが必要だ
 と思います。
 十数万人を殺傷した
 兵器にしては本当に
 小さいですね。
 それぞれが貴重な
 体験をしたと思いま
 す。いつまでも覚え
 ておいてください！
 講義でもお話したように、覚
 えておけばいいということでも
 ありません。しかし、覚えてお
 かなければお話になりません。
 1945年の8月6日と8月9日は、
 しっかり覚えておいてください。
 そして、まだ行ったことがな
 い人は、学生のうちに広島と長
 崎へ行ってください!!!私
 もまた広島と長崎に行こうと思
 います。

原子力に関しては私自身、学ばないで済ませたいと思いましたが、科学者に任せると、自分自身
 者にはわからない。ということばかり私自身に知らずにはいられない。「火事かよ様なことを学ぶ」とい
 機会が。今の教育では不足する部分が多い。おそらく、大人が勉強することの意味を理解していないからです。
 しかし、もう皆さんは自分が何を勉強するか自分で選べます。ぜひ積極的に自分から勉強してほしいです!

2. iPS細胞

iPS細胞は人々に技術の進歩を与える一方、費用とそれらとを思っていることになる。これは金と考える。
 iPS細胞はすごい技術だと思いましたが、キメラマウスのような動物がつくられるのであつたら、発見されたければおぼたのに思っていました。
 iPS細胞は夢の細胞だといわれているが、使う方によっては人の命が全く価値のな
 いものになってしまうのではないかと不安に思つた。
 私は3年前にリベラルアーツセミナーの講義内でES、iPS細胞について発表しました。
 発表する前に、iPS細胞について勉強しました。勉強した後、その細胞が実現し
 たら、何が出来るのか、自分にどんな利益があるのか、というメリットばかりに目がいき、
 いた。デメリットについても知りましたが、やはり利益の方にばかり目がいき、
 今回のセミナーの中、山中教授のインタビューを見て、
 新しいものを作ることがある時に、それによって起る悪影響を想定してそれにいつかして対応す
 べきかということも考へなければならぬ、と警告を言いましたが、それは原爆に対して反対意見
 を持っている人の求むる若手技術者のように、と思つた。
 少し前から外村が、実用化されてから騒ぎかと言っているが、無知な人々を煽動するのはアンチメディアだ、と思つてしまいました。

いい指摘です。
 何できちんと教え
 ないのか。一つは、
 まず、iPS細胞では、細胞
 の塊はできるけど、臓
 器(例えば心臓)はでき
 ません。キメラは、他の
 動物に患者の心臓を作っ
 てもらう技術です。
 新しい技術が、多くの人の命
 や生き方に役立つものであれば
 開発すべきでしょう。ただ、指
 摘があるように、原発と同様に、
 その利益を受け取るのであれば、
 その問題点にも目を向けて、皆
 で考える必要がある、というこ
 とではないでしょうか。

知識がないまま意見を持たせようとする、そんな風潮があるように私も思います。まずは知識ではない
 でしょうか。

3. 学ぶこと

小学校の時から考えていたとは素晴らしい！この講義が一つのヒントになればいいと思います。これからもう考えてください！そして、沢山勉強してください！

“どうして勉強するの？”ということを小学校の頃から“知”と書いていました。最近やつとこの答えが 見えてきました。桜葉林大学 リハビリアーチ 学群に入らなれたら 私は 苦手な 物理学と関わる ことになれた と思います。私も大学に入学する前に 如く自分の短 なゆが勉強は良いと 思ったことがありそれが、この授業を取り、考えも 変りました。

今は科学者だけが考えの時代が おわり、国民人人が考えの時代 になっていくと聞いて、勉強すること大切と学んできた。人類 未来のために私は いろんなことを学ばなければならな

今日のビデオを見て、考えさせられることがたくさんありました。好きは 勉強 したい、自分に関係ないことは早送りしたいという私たちと、好きなことを研究して、他の ことは早送りしたい。科学者は、結局同じだ”ということにおどろきました。科学者だからと 関係なく、誰かが 全てを 知らなければならぬということの大切さを改めて知りました。 知らないというのは 時にとて 危険なことだと感じ、それと自分のことを “知らない” がないと感じました。これは 原爆のことだけでなく、社会の様々なことを この大学

生活でたくさん学ばないといけない。この2,3回の授業を通して “知る” ということが大事だと感じた。

私たちが自身も人ごとに考えるのではなく、もっとも 実際には 結論を知る 必要を感じました。

生々しい画像や 目を追いかけて 見る動画も 面白いと感じた。原発について、もしも皆

私は以前まで、原発は反対というただ漠然とした 意見を持っていました。ただ3月11日の原子力発電所爆発を見て、そう思っ て 自分 の 安易な 考えが、それだけ馬鹿げたことかと、少し思いました。そして、 みる、まず原子力発電のことは全くと言って良い方で、矢張りませんでした。 原子力を肯定するにも否定するにも知識が 必要だと感じて。

本当にその通りです！！

今日の授業もとても考えさせられました。私は 様によって知は知っていると 感じて、私 だが、全く理解していません。つまり私の生活してきた19年間に 知ること 勉強して きた、たのたのたのたの、科学者や 悪と 判断 する 権利は 我々 にも あります。 今の中にも 非常に 困難なことはありますが、同じ人間でも 国や環境が 異なる ために、考え方も 変わっていきます。世界が一つになったのはとても 困難な ことだと 感じました。

今回の講義は、深く考えさせられる内容でした。 自分の甘さ、むき出しなほど 自分が どれだけ、 弱い 人間なのかも 実感しました。

難しいことは 一般人には 確かに わかりません。しかし 一般的に 昔から 声をはりあげて いる 人たちが いたのに、日本は どうすれば 変わるのか、 意見を 言うことが できます。科学者だけに 任せると、 一人一人が 考えることが 必要です。まずは 自分の 意見を持つことが、 誰にも 出 ず、 大げさなこと ではない と思います。

この点について、私の考えは、ちょっと（あるいは大きく？）違います。知識が先であることを強調した いです。知識がないまま意見を持ったりすることは、むしろ危険な結果を招くのではないのでしょうか。

先生が 知りたくないことを 知らなければ ならない と言う意。未は 理解できる、 その通りです。無限の知識 と、無限の他の人への配慮。

私には 無限にあるような気が する。有限であらしても、それを、 無理です。でも、ソクラテス が ヒントを 与えて くれました。

一往の内に、私に 知り、また 覚えて いく ことが できる 気は 全く、 ない。 ソクラテスは、自 もし、全部を 知ると すれば、 一つ一つのことは、 深く 追求 できなくなるのでは？ 分が一番の知患者だ との神様のお告げを人から聞いて、そんなことはないと思い、他の賢者と問答します。そして、気づきます。 知らないことを知らないと 自覚できている点で、自分は他の人よりも賢者といえるかもしれない、と。そして、ソクラテスがたどり着いたもう一つの答えは、対話でした。いい加減な知識や意見を、対話を通して正しい方向へ導けるとする考え方です。

4. 人を傷つける知識

私、「学ぶことは人を傷つける能力を身につけること」という言葉を聞いて、確かにと思うこともあったけど、これは学ぶとは結局なんだろうという気持ちにもなりました。

今更、私には学ぶことが大切だと言わせたけど、この言葉を聞いて学ぶということが

少し分らなくなりました。
私たちが様々な知識を活用しながら快適な生活をしている以上、知識を捨てることはできません。科学者がモラルも学ぶべきであると皆さんが思ったように、学ぶ私たちもそうすべきです。そして、自分の知識を悪用させないように、また、お互いに暴走しないように、もっと勉強していくことが解決策なのではないかと私は思っています。

それに知らないことは罪、と考えていて様々なことを知りたいと思っただけで、知ることで罪をおかしてしまう危険もあるように、やはり自分の行動には責任をもたないといけないなと感じた。

「学ぶとは人を傷つける能力を身につけること」と聞き、学ぶために大学に入ったのに学んだことを悪用するのを止めることはできないのか」と思いました。

学ぶことで人を傷つける能力を得ているとわかった瞬間、恐しく感じました。誰かに知識を共有するのは正しいことではあるが、不安に感じました。

素晴らしいまとめです！
知識をベースにした快適な社会に住む私たち自身の責任として考えていくべきではないでしょうか。

5. 湯川秀樹

湯川氏の生涯を通じて訴えていたことは本当に心にずっと突き刺さり、気がします。

湯川秀樹については日本第一号のノーベル賞受賞者だったり中間子論提唱は聞いたことがありました。しかし核廃絶運動もしていたこと知りませんでした。

原爆のテレビを見て、最後まで見ていて、最終的に「化学者はバカだな。」と思っしまいました。しかし、そもそも、根本的な原爆の仕組みをしようとしていない、なんでもどうしようもない思いました。

核を持つ国はたくさんある。その核を全部なくすることも不可能かもしれないが、各国が核爆弾を使わなければ平和な世界ができる

自分の声をあげて核心に返そうという考えは当たり前だけに、本当に素晴らしいと感じました。でも世界から核をなくするのは本当に難しいと思います。でも平和のため核を0にしたいです。

湯川氏の訴えが聞き入れられなかったことをとても悲しく思います。

これからの世界では、常に核におびえながら生きていかなければならないのでしょうか。

湯川秀樹氏は核の危険性を知らず科学者が「国境を越えて移動すべきだ」と考えていたが、ハロウオッシュ会議に参加したうちの1人が核と共存するのを考えていた人もいる。もしも国民や国家が核に対して知識をつけ危険性を知らなければやめたのだろうか。

高校生の頃に「ビキニ環境」について学びました。私たちが知っている「グジラや女性用の水着のビキニ」がこの事故から来ていることを知り、凄惨な何気なく知、ていることも、悲しい背景を持っているのだ」と思っました。原爆投下直後の映像を見るときは「出ろ！出ろ！」と叫びました。

原爆に722の話が出てきたので、「時と刻の解放の道」722と書い出しました。時と刻は残酷なものに記されていますが、3X10の2乗「結果的に原爆が日本を救った」というもの。二枚を知らぬ時は「おれん」とか思っました。色々な事を知らぬ今になって「3X10の2乗か？」と思っようになりた。

ぜひ、湯川秀樹の名前と、彼の行ったことを覚えておきましょう！
皮肉にも、科学者の駄目さ加減がわかったわけですが、それも記憶すべきだと思います。

個人的には、この三つのコメントは、やや残念です。核兵器をなくすることが難しい、と思った時点で核抑止論に取り込まれています。湯川が言ったように、簡単な話なのですよ！

湯川秀樹氏の言っていることは正しいと思う。だが、実現させるのはとても大変なことだと思っ。

いいえ、皆さんが本当に望めば、核はなくなります。

やめるはずですし、そうしてやめさせるべきです。知っていて核開発を推進するとしたら、それは正気ではないと思います。湯川朝永宣言への署名を呼びかけるときに、広島長崎の映像を見て、科学者たちが初めて署名する気になったのは、科学者たちの良心が当りにならないことを示したと同時に、知っていればやらない、という希望でもあります。

広島・長崎を含む原爆被害を、もっと皆で勉強しましょう！

大人の特徴は、いい訳がうまいことです。自分も言い訳がどんどん上手になって、と悲しくなります。

他の人の犠牲を正当化するような言い訳には、いつも厳しい目を向けておきたいと思っます。

6. 東京原発

私は「東京原発」を買おうと思っていました。しかし、TSUTAYAの文字を見て、
そういえば、大学にあるかも、と
思って調べると、やはりありまし
た。大学のを借りて見ました！

核の恐ろしさを学ばせよ。又、「東京原発」という映画は、
その見せ方と後悔するまで思いました。TSUTAYAで借りた。毎週。

「東京原発」、私の母が観ていました。中のセリフが「サツと
フキ刺さります...」「人間は終わりのことに関心がない」その通り
だとは思ってしまいました。また、人はどんどん大人になると新しい
ことを勉強しなくてはならない先生の言葉にも頷きました。「知る」
と「知る」ことを止めてしまふのは、とても悲しいことだと思いました。

全体的にとても良くできている映画
でした。役者もそろっているし、ス
トーリーも楽しめるし、お説教くさく
なく知識も得られる。お勧めです。
逆に、これだけ良くできているのに
ヒットしなかったのは何故でしょうか。

国の政策を傍観しているのは賛成と同じ事だ という言葉が印象に残りました。

「傍観しているの
は賛成しているのと
同じ」は私も耳が痛
いです。人のことを
自分のことと思って
いない、もそうです
講義で扱うのは、
ささやかな罪滅ぼし
でもあります。

反対だったら何かしらの行動をするべきだと思いました。

私たちはせめて中野の原発を止めて見ていて欲しい。なぜか、じつはそんなの
で思っている人は、どうして見せようとしてない自分のそのじつは、
りてもなく良かた

考えているそのおろかな人間と先生のじつは、
りてもなく良かた

軽はずか、自分の住んでいるところから遠い場所だから、真剣に考えな
かたと思つた。

沖繩の基地も、
途上国の人々の過
酷な労働も似た構
図ですね。

自分の周りの安全が考えていない、そのおろかな考え方が原発の無くなる原因なの
だと思つた。

「東京原発」について、電気を多く使う東京や、近くの県に、原発がなく、福島など、
地方には「かり

あるのが電気を多く使う人には、ほぼ「リスク」がなく、あまり使っていない、
地方の人には「リスク」が多い

は、おかしいと思つた。私は、小さい頃から、勉強は、テスト、試験の為と
多く言われてきました。下す

勉強は、自分自身に、知識をつけ、正しい判断が出来るようになる為
のためではないかと、考えるようになった。

死刑と関連付け
て考えられたのも
素晴らしい。現在
の問題の多くは、
他の人への影響を
考えない無知や身
勝手さにあるよう
に私も思います。

このことを聞いたなら、先生の先生回の授業で言った「死形の責任」という
ことが

思い出しました。全て同じことではないが、「自分の手ごっこないから、
自分の責任では、

という考え方は、私にとっては間違っている考え方だ。一つ一つの行動は
他のことに影響を

与えるはずで、それから、知識がなく、知ろうとなく
色々なことを聞かせるには、良くないものだ。

原発事故のスライドを見た時、大体10年ごとに原発事故が起きている
のを見

歴史を何故勉強するか、に
もちろん、色々な意義がある
と思います。けれども、一つには、
過去の過ちから学ぶことができる
ということが大きいと思っています。
他の人が大切に思っている神様を、
けなしたり、否定したりすることは、
他の人への配慮が足りません。歴史
にはそんな事例は沢山あります。

軽蔑人類、学習能力がないなあと思つた。

3.11直後は本当に馬鹿でいたのに、たった2,3年で風化してつある。
他人事件

だと思つている人が多いうちに感じます。再び原発に
事件が起きれば、慌てふためき、また何年かすると忘れる。歴史は

繰り返す、といいますが、それは、
りてもなく良かた

7. 自動車

ちょっと前まで、日本では、1年間で1万人が交通事故で死んでいました。それを
考えると激減です。しかし、
それでも1年で4千人が犠牲
になっています。正気じゃ
ないと思います。

最近、14年連続で交通事故減少というニュースも見ました。車や自転車も下手すれば
人が死んでしまう技術です。しかし、このおろかな土手く付き合っている例も
あります。

自動車はとて偉大な発明品であり、今はそれがなくなると考えられない生活と我々
は生きています。

しかし、元々の戦闘機、さらに言えば現代の自動車から、かなりの数の人の命を
救っています。

使い手だけではなく社
会全体でそれをどう受け
入れるかだと思います。
「交通事故で死んだ人は
お気の毒。」「不運でし

た。最初の発明の時点ではとて偉大な発明品を作ったおかげで、
いっこの話になるのだらう。

発明品にはリスクが付きものであり、やはり全ては「使い手」とい
う話に戻るのだらう。

この授業内で考えた私なりの結論であり、一番現実的
な結論だと思つた。

「た。」では、沖繩の米軍基地や、福島原発、水俣病などの例と全く同じ構図ではない
でしょうか。自動
車の発明は誰しも重要だと思つたし、間違いなく多くの命を救いました。でも、
1年間で4千人の命について、
もっとできることがあるはずだ。それを知って、皆で考えていくべきではない
でしょうか。